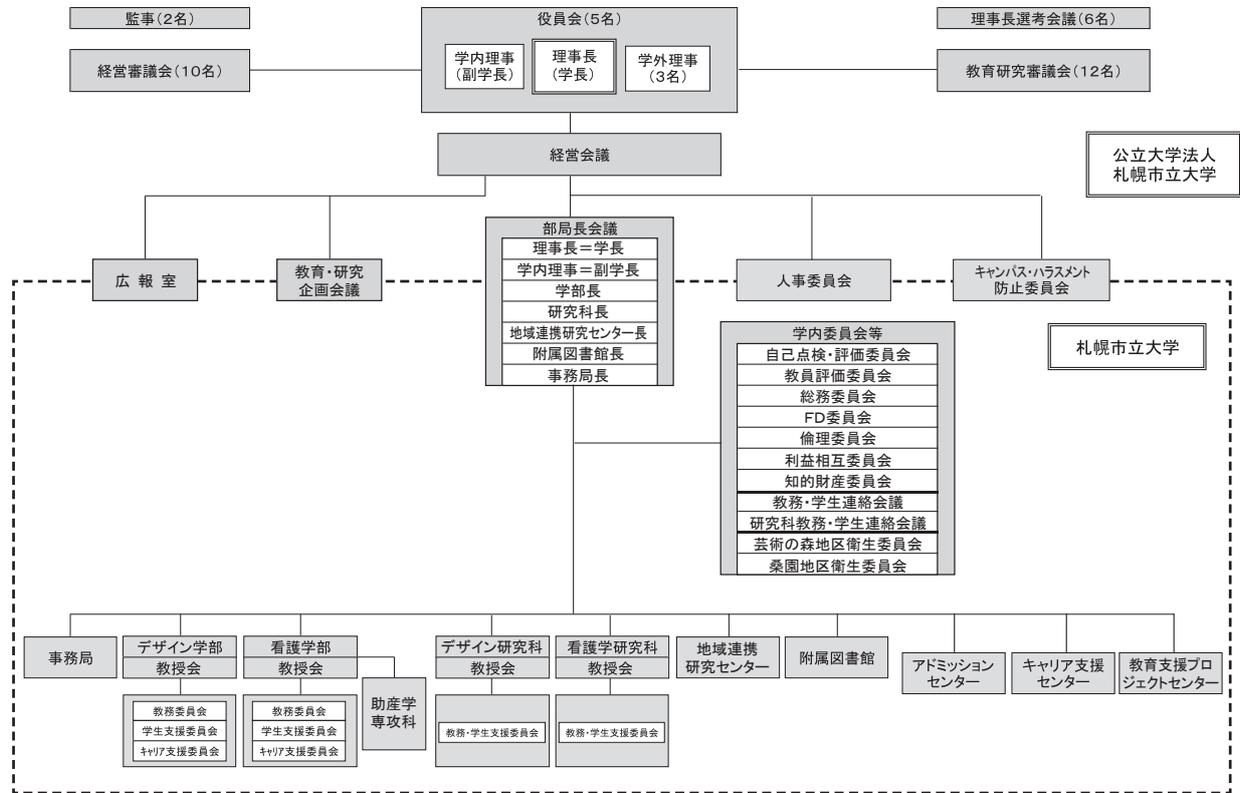




Ⅷ 法人・学内運営の概要

1 平成28(2016)年度公立大学法人札幌市立大学 組織図



2 役員会及び審議会の審議状況

回数	経営審議会	教育研究審議会	役員会
第1回	(1)平成27年度事業報告及び決算について (2)平成27事業年度業務の実績に関する報告について (3)自己点検・評価実施方針について (4)公立大学法人札幌市立大学名誉教授称号授与について	(1)平成27年度事業報告及び決算について (2)平成27事業年度業務の実績に関する報告について (3)自己点検・評価実施方針について (4)公立大学法人札幌市立大学名誉教授称号授与について	(1)平成27年度事業報告及び決算について (2)平成27事業年度業務の実績に関する報告について
第2回	(1)平成29年度予算編成方針について (2)教員の再任について	(1)平成29年度予算編成方針について (2)教員の再任について	(1)平成29年度予算編成方針について
第3回	(1)平成29年度年度計画及び予算について (2)学則等の改正について (3)大学評価(認証評価)の申請について	(1)平成29年度年度計画及び予算について (2)学則等の改正について (3)大学評価(認証評価)の申請について	(1)平成29年度年度計画及び予算について



3 役員及び審議会委員名簿（平成28年4月1日現在）

1) 役員

役職	氏名	現職
理事長	蓮見 孝	札幌市立大学 学長
理事（常勤）	樋之津 淳子	札幌市立大学 副学長 兼 看護学部長
理事（非常勤）	恩村 裕之	北海道電力株式会社 代表取締役副社長執行役員
理事（非常勤）	山岸 正美	株式会社マーケティング・コミュニケーション・エルグ 代表取締役
理事（非常勤）	橋本 道政	公益財団法人札幌市芸術文化財団 副理事長
監事（非常勤）	橋場 弘之	田村・橋場法律事務所（札幌市任命）
監事（非常勤）	高松 謹也	公認会計士 高松謹也事務所（札幌市任命）

2) 経営審議会委員

役職	氏名	現職
理事長	蓮見 孝	
理事	樋之津 淳子	
理事	恩村 裕之	北海道電力株式会社 代表取締役副社長執行役員
理事	橋本 道政	公益財団法人札幌市芸術文化財団 副理事長
事務局長	大古 聡	
学外委員	菊嶋 明廣	札幌商工会議所 常務理事
学外委員	福井 知克	一般財団法人さっぽろ産業振興財団 専務理事
学外委員	秋野 豊明	溪仁会グループ 会長
学外委員	花井 秀勝	フュージョン株式会社 代表取締役会長
学外委員	町野 和夫	北海道大学大学院経済学研究科 教授

3) 教育研究審議会委員

役職	氏名	現職
学 長	蓮見 孝	
理 事	樋之津 淳子	
理 事	山岸 正美	株式会社マーケティング・コミュニケーション・エルグ 代表取締役
デザイン学部長	細谷 多聞	
デザイン研究科長	城間 祥之	
看護学研究科長	松浦 和代	
附属研究所長	上遠野 敏	
附属図書館長	山本 勝則	
事務局 長	大古 聡	
学 外 委 員	山中 善夫	札幌市教育委員会委員

任期：平成30年3月31日まで



4 経営会議

平成28年度は13回の会議を開催した。

会議では、法人の経営及び札幌市立大学の教育研究に関する重要事項について協議を行った。

5 部局長会議

回数	開催日	議題
第1回	4月6日	(1)感染症（集団）発生の対応（案）について
第2回	5月11日	(1)感染症（集団）発生の対応（案）について (2)大学基準協会の認証評価の受審について
第3回	6月1日	(1)平成28年度前期 授業料減額免除について (2)平成27年度年度計画の実績報告に係る点検結果について (3)平成27年度決算について (4)認証評価の受審に向けた自己点検・評価実施方針について
第4回	7月6日	なし
第5回	7月19日	(1)札幌市地方独立行政法人評価委員会によるヒアリングの概要について (2)平成27事業年度実績報告に係るヒアリング回答（案）について (3)第二期中期計画中間評価に係るヒアリング回答（案）について
第6回	8月12日	(1)札幌市法人評価委員会の評価結果（案）について (2)研究倫理規程および倫理委員会規程の改定について
第7回	9月7日	(1)研究倫理教育の実施について (2)「（仮称）北海道創生・海外留学支援協議会」への参加について
第8回	10月5日	なし
第9回	11月2日	(1)次期中期計画の策定について
第10回	12月7日	(1)福祉避難場所等への学生等ボランティアの派遣協力に関する協定の締結について (2)学生用大地震対応マニュアルの制作・配布について (3)平成29年度入学式及び卒・修了式の日程について (4)平成28年度後期授業料減額免除について
第11回	1月4日	(1)キャンパスの活用等に関するプラン案について (2)協議会設置の覚書について (3)自己点検・評価結果について
第12回	2月1日	なし
第13回	2月9日	(1)第三期中期計画 計画予算見積調書（新規・レベ）について
第14回	2月13日	(1)平成29年度年度計画（案）について
第15回	3月1日	(1)デザイン研究科博士前期課程の再編について (2)自己点検・評価結果について (3)学則・規則改正について (4)平成29年度主要会議予定表について (5)平成29年度学内委員会等について (6)共同研究費について



6 企画室会議

企画室会議は、全学ポリシーの策定に関する事、教育改革に関する事について企画・立案し、経営会議へ提案する組織として平成28年5月に設置した。また、「全学ポリシー策定部門」及び「教育改革部門」を設置し、両部門会議を10回同時開催した。

平成28年度の主な活動として、両学部共通ポリシーの策定を行ったほか、障害者差別解消法に伴う教職員の対応要領の策定に向け協議を行った。

7 広報室

広報室は、主に広報戦略の推進に関する事項等を所管しており、平成28年度は大学の広報全般を所管する「広報企画部門」、制作物に関する事を所管する「広報制作部門」を設置した。平成28年度の会議の開催数は、広報室が1回、広報企画部門が7回、広報制作部門が11回であった。

主な活動として、2017年度版大学パンフレットを発行し、2018年度版大学パンフレットの検討・制作を行った。また、大学公式ウェブサイトの管理・更新を行ったほか、平成29年度大学広報委託業者を選定する企画審査会（プロポーザル）を実施した。

8 教授会

1) デザイン学部教授会

デザイン学部教授会は、平成28年度に13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他学部の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

また、教授会終了後には、毎回、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。

2) 看護学部教授会

看護学部教授会は、平成28年度に臨時教授会2回を含む14回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、進級卒業判定及びその他学部の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、助産学専攻科における教育課程の編成、修了判定及びその他専攻科の教育研究に関する事項などについても本教授会において、幅広く審議を行った。

教授会終了後には、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。

3) デザイン研究科教授会

デザイン研究科教授会は、平成28年度に14回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他研究科の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

また、デザイン研究科博士後期課程に関する事項について審議するため、博士後期課程会議（研究科教授会代議員会）を13回開催した。

4) 看護学研究科教授会

看護学研究科教授会は、平成28年度に臨時教授会2回を含む14回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、修了判定及びその他研究科の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、各学内委員会等からの報告も行い、必要に応じて看護学研究科科目担当専任教員を構成員とする拡大会議として開催した。

9 地域連携研究センター

地域・産学連携部門、国際交流部門、紀要編集委員会の3セクションに構成員を配置して、公開講



座、研究活動、地域貢献および国内外ネットワーク形成の推進を担い、活動を行った。また、運営会議（計11回開催）で課題や情報を集約したほか、主な活動内容は以下のとおりである。

<公開講座>

大学が持つ知的資源をデザイン・看護の視点に基づき地域に還元し、地域の産業、まちづくり、保健・医療・福祉等への貢献をすることを目的として、公開講座を開催した。専門職業人や市民を対象とした32コース（61コマ）【うちCOC関連21コース（44コマ）】の講座を、延べ1014名が受講した。また、ちえりあとの連携講座として6コマ139名の受講、今年度も北海道立総合研究機構との共催講座「知活ゼミナール」を開催し2コマ50名が受講した。

平成27年度から公開講座を、体系的に整理することにより、全体の傾向を把握し、且つ、今後の公開講座の企画運営において、大学が保有する知的資源を有効に活用することを目的として、受講希望者及び企画運営における2つの視点から、公開講座の体系を大項目として「一般市民向け」「専門職向け」を、中項目として「デザイン分野」「看護分野」「学際分野」を設けている。大項目・中項目に加え、小項目に「4コース9領域」と「共通教育」を加えることにより、分野別に講座の実施状況を把握し、企画運営を行った。

<地域・産学連携>

地域からの協力要請に対して、本学教員・学生が本来の活動の延長上で教育・研究の成果を地域に還元するため、地域連携活動の協力を行った。また、教員の研究成果を学外に周知し産官学連携のきっかけを探るために、「ビジネスEXPO」等の展示会へ出展したほか、産官学連携を目的とした学外向けの産官学研究交流会の開催や、北海道立総合研究機構との視察研究交流会を開催し、更なるネットワークづくりを図った。

<国際交流>

国際化に関する基本方針および行動計画に基づき、4つの戦略を下記の通り、引き続き推進した。

・「学生の国際化」

本学、学生交流については、デザイン学部生が華梵大学でのデザイン合同ワークショップに参加した。承德医学院関係者の来学時の学生交流については、学生が主体的に企画し積極的な交流を図り受入を行った。また、提携校ではないが、マレーシアのKPJ Healthcare University College (KPJ) との海外研修やインドネシアのバンドン工科大学に共同デザインワークショップ参加のため学生を派遣した。

華梵大学からの特別聴講学生の受入も継続して行っている。

・「教職員の国際化」

学術奨励研究において、教員の国際学会・国際展示会への発表を促すための補助制度を継続し、国際学会誌に発表した際の補助制度を推奨している。

・「提携校との交流の活性化」

華梵大学へ非常勤講師として、学長を派遣した。また、清華大学美術学院設立60周年開学式典に学長と教員を派遣した。

台中科技大学との交流促進のため、受入の検討を行った。

・「海外とのネットワーク化」

ポートランドのPacific Northwest Collage of Art (PNCA) から関係者が来学し、今後の交流の可能性を検討した。

また、日豪若手研究員派遣事業研究者が研究交流のため来学し本学を視察、教員と交流した。

<紀要編集>

前年度に発行準備をしていた研究論文集「SCU Journal of Design & Nursing 第10巻」を平成28年6月末に発行した。また、第11巻を平成29年7月に発行することとし、投稿論文について査読を行い、発行の準備をした。



<研究推進>

地域や産業界から依頼された受託研究11件、共同研究1件、寄附金12件の受入れを行い、次年度の学内競争的研究費（学術奨励研究費・共同研究費・田村ICT基金）の公募と審査に係わる制度設計を行い、学術論文掲載料等補助の制度を改善した。また、両学部の教員の交流を図るため研究交流会を、産学官連携のシーズ創出を図るため産学官連携研究交流会を企画・実施した。

10 附属図書館

平成28年度は全11回運営会議を開催し、附属図書館の運営に係る事項について協議を行った。主な協議内容は、図書館利用の活性化、図書館予算の考え方、データベース・電子ジャーナルの契約方針、購読雑誌の契約検討、図書館システムリプレイス、研究室蔵書点検の実施頻度、学外利用者資格、研究室資料の貸出返却、長期休業期間の長期貸出、等であった。

芸術の森図書館の利用活性化に向け、芸術の森キャンパスライブラリ部会を立ち上げ、新着図書案内（立体的な展示、メールマガジンの配信）や芸術の森図書館情報誌「ほんわか」の発行、春期休業期間の長期貸出に向けての検討、デジタルサイネージの設置準備を行った。

図書館システムは、9月12日から新システムの稼働を始めた。

この他、北海道地区大学図書館協議会相互利用促進事業運営委員会の委員長館をつとめた。

芸術の森図書館では、札幌芸術の森美術館との連動企画展を開催（7月11日～8月19日）、アートブックフェアへ参加（11月7日～12月3日）した。

11 アドミッションセンター

入学者選抜試験及びそれに伴う入試広報、入学者選抜方法の調査研究及び統計等に関する事業の計画的な推進を行った。

平成28年度は計10回の会議を開催し、前年度の入試結果の分析、入学者選抜方法の検討、高校訪問・進学相談会の実施計画の策定、入試区分ごとの学生募集要項・選抜試験実施要領に関する審議、入学者選抜試験に係る現状分析を行った。

また、学生募集に係る具体的な取組として、オープンキャンパス、大学・大学院等説明会、高校訪問及び中学生向け広報活動等を企画・実施した。

さらに、アドミッションセンターメンバーに学長を加えた大学入試センター試験実施委員会においては、幹事大学として平成29年度大学入試センター試験を実施するために必要な事項を審議した。

12 キャリア支援センター

キャリア支援センターは、両学部に係るキャリア支援に係る改善・充実を目的として、平成20年4月に設置され、両学部のキャリア支援委員会においては、各学部の特性や特長及び社会情勢に応じたキャリア支援を行った。

13 教育支援プロジェクトセンター

教育支援プロジェクトセンターは、文部科学省の補助事業や公的機関が実施する事業に係わるプロジェクト等を所管しており、「COC+部門」「サードレベル部門」「看護コンソーシアム部門」を設け、各部門において活動を行った。



14 学内委員会

1) 自己点検・評価委員会

自己点検・評価委員会は、主に認証評価や年度計画の進捗管理に関する事項等を所管しており、平成28年度は24回開催した。

平成28年度の主な活動として、認証評価に係る点検・評価報告書（案）や平成27年度年度計画の実績報告書（案）の作成を行ったほか、平成28年度年度計画について半期（一部の項目は四半期）ごとに取組状況の進捗管理を行った。

2) 教員評価委員会

平成28年度は2回の委員会のほか、ワーキングや専門部会を開催し、各教員から提出された教員活動実績申告書の確認作業や教員評価書の作成作業を行うとともに、次年度に向けた、記入要領及び申告書様式等の検証を行った。

評価結果については、平成28年度末に任期満了を迎える教員の再任審査に活用した。

3) 総務委員会

平成28年度は9回の委員会を開催した。

委員会では、キャンパス活用等に関するプラン案を策定し、全教職員へ周知を行った。また、情報セキュリティポリシー対策基準の見直しを検討した。

なお、昨年に引き続き、夏季及び冬季の節電対策について検討を行い実施した。

4) FD委員会

FD委員会は、教員の資質向上、FDに関する情報の共有化・情報収集のため、学内研修会の開催及び学外研修会への教員派遣等を積極的に行った。委員会を10回開催し、FD活動の方針について論議するとともに、具体的な取り組みについて、内容を検討し、実施した。

平成28年度の具体的な活動として、FD委員会が主催・共催の全学FD研修会（2回延べ134名）、FD委員会以外の部署が主催の全学FD研修会（3回延べ123名）、学部・研究科ごとのFD研修会（9回延べ285名）、学外研修会への教職員派遣（A区分：4件延べ6名、B区分：8件延べ13名）、授業参観（9件延べ11名）、授業評価アンケート集計結果に対する所見の公開を実施した。

なお、学内で実施されたFD研修会の実施状況については、FDマップを作成することで整理している。また、「北海道地区FD・SD推進協議会」に幹事校として参加した。

5) 倫理委員会

倫理委員会は研究を遂行する際に、被験者（研究協力者）等の人権擁護の観点から、研究倫理に則った十分な配慮をした研究計画になっているか否かを審査している。

平成28年度は、毎月末日を研究倫理審査申請の締切りとし、原則、毎月第4水曜日に委員会を開催した（計13回開催 ※特別審査部門を臨時開催1回）。

平成24年度から始めた審査方法として、倫理委員会における審査に先立ち倫理委員が審査資料の事前確認をした上で、申請者へコメントを送付し、加筆修正・説明を求めている。この方法をとることにより、審査時間の短縮と審査申請から研究開始までの迅速化を図っている。

年間の審査申請総数は60件であり、1回当たり平均4.6件の審査を実施した。審査結果は「承認」、「条件付承認」、「変更の勧告」、「非該当」のいずれかとし、「条件付承認」となった申請については、修正箇所を確認し承認する「迅速審査」を行った。

また、審査の社会的透明性及び客観性を担保すると同時に申請者や委員に係るリスク管理の保全のため、平成23年度から継続して、法律家1名に外部委員を委嘱している。平成28年度は前年度に引き続き、吉岡直樹弁護士（札幌星空法律事務所）が委員として審査に加わった。

また、平成26年12月告示の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省）においては、倫理審査委員会の成立要件として、構成員に「倫理審査委員会の設置者の所属機関に所属しない者が複数含まれていること」とされていることから、平成27年度から人を対象に介入・侵襲を伴う医学系研究の倫理審査を扱う特別審査部門を設置し、もう1名の外部委員



として今井富裕氏（札幌医科大学保健医療学部教授）が加わり審査を行った。平成28年度には、特別審査部門を2回開催した。

6) 利益相反委員会

利益相反委員会は、産学官連携活動大学と職員等が利益相反の疑いを持たれることを防ぐことにより、大学と職員等を保護しつつ、大学の社会的信頼を維持することを目的としている。平成28年度に新設され、当年度において1回開催し、利益相反自己申告書1件について審議を行った。

7) 知的財産委員会

知的財産委員会は、平成28年度に4回開催し、学内の知的財産に係わる管理・運営を行った。また、「産学連携知的財産アドバイザー派遣プログラム（工業所有権情報・研修館主催）」へ「北東北ものづくりプロジェクト形成ネットワーク」として参加した。当該事業から派遣される知的財産アドバイザーの支援を受け、外部企業と専用実施権契約を締結している案件の製品化に向けた検討を開始した他、特許申請を1件行った。

8) 教務・学生連絡会議

教務・学生連絡会議は、平成28年度に11回開催し、共通教育、デザイン・看護両学部の連携教育に関する事項及び学生生活、課外活動支援に関する事項等について、年度計画を見据え、かつ実際の授業運営等に即した事項について審議した。

具体的には、学事暦、時間割、シラバス、定期試験及び授業評価アンケートに関すること、また、奨学金、大学祭、チューター制度に関すること等について審議したほか、年度計画に対応した取り組みとしては、共通教育科目の効果検証、授業評価アンケートの見直し、成績評価状況の確認等を行った。また、毎回、両学部の教務委員会及び学生支援委員会から教務及び学生支援に関する課題を報告し、両学部の情報を共有した。

9) 研究科教務・学生連絡会議

研究科教務・学生連絡会議は、平成28年度に8回開催し、デザイン・看護学両研究科の連携教育に関する事項、研究科連携科目に関する事項及び学生生活に関する事項等について、年度計画を見据え、かつ実際の授業運営等に即した事項について審議した。

具体的には、研究科連携科目である連携プロジェクト演習の効果検証、院生研究支援費、シラバスや履修の手引き等に関する事項について審議した。



15 構成員名簿

区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	経営会議	◎蓮見 孝 樋之津 淳子 大古 聡	理事長 学内理事 事務局長
	部局長会議	◎蓮見 孝 樋之津 淳子 細谷 多聞 城間 祥之 松浦 和代 上遠野 敏 山本 勝則 大古 聡	理事長 理事 兼 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 地域連携研究センター長 附属図書館長 事務局長
	企画室	◎蓮見 孝 樋之津 淳子 細谷 多聞 城間 祥之 松浦 和代 大古 聡	理事長 兼 学長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 事務局長
	広報室	◎蓮見 孝 細谷 多聞 上遠野 敏 宮崎 みち子 安齋 利典 スーディ神崎 和代 清水 光子 菅原 美樹 石田 勝也 福田 大年 大古 聡 飯塚 和恵	理事長 デザイン学部長 地域連携研究センター長 助産学専攻科長 デザイン学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 事務局長 事務局次長 兼 経営企画課長
	人事委員会	◎蓮見 孝 樋之津 淳子 細谷 多聞 城間 祥之 松浦 和代 大古 聡	学長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 事務局長 兼 調整担当部長
	キャンパス・ハラスメント 防止委員会	◎蓮見 孝 樋之津 淳子 細谷 多聞 城間 祥之 松浦 和代 大古 聡	学長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 事務局長
	地域連携研究センター	◎上遠野 敏 原 俊彦	地域連携研究センター長 デザイン学部教授



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	地域連携研究センター	小田 和美 張 浦華 山田 信博 山田 良 大野 夏代 古都 昌子 渡邊 由加利 小宮 加容子 金 秀敬 小坂 美智代 三上 智子 柏倉 大作 飯塚 和恵 上田 理子	看護学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 事務局次長 事務局地域連携課長
	図書館	◎山本 勝則 町田 佳世子 武田 亘明 松井 美穂 神島 滋子 菊地 ひろみ 松永 康佑 小田嶋 裕輝 上田 理子	附属図書館長 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 看護学部助教 事務局地域連携課長
	教育支援プロジェクト センター	◎蓮見 孝 樋之津 淳子 中原 宏 猪股 千代子 大古 聡	理事長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部教授 看護学部教授 事務局長
	アドミッションセンター	◎樋之津 淳子 細谷 多聞 宮崎 みち子 羽深 久夫 斉藤 雅也 上村 浩太 大淵 一博 須之内 元洋 工藤 京子 矢野 祐美子 烝野 直樹 布廣 成規	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 助産学専攻科長 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
	キャリア支援センター	樋之津 淳子 ◎細谷 多聞 安齋 利典 スーディ神崎 和代 大古 聡	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン学部教授 看護学部教授 調整担当部長



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
学内委員会	常置委員会	自己点検・評価委員会	樋之津 淳子 看護学部長 細谷 多聞 デザイン学部長 ◎松浦 和代 看護学研究科長 城間 祥之 デザイン研究科長 宮崎 みち子 助産学専攻科長 斉藤 雅也 デザイン学部准教授 飯塚 和恵 経営企画課長
		教員評価委員会	◎蓮見 孝 学長 樋之津 淳子 副学長 兼 看護学部長 細谷 多聞 デザイン学部長 城間 祥之 デザイン研究科長 松浦 和代 看護学研究科長 石井 雅博 デザイン学部教授 定廣 和香子 看護学部教授 大古 聡 事務局長
		総務委員会	齊藤 利明 デザイン学部教授 河原田 まり子 看護学部教授 山田 良 デザイン学部准教授 高井 真希子 デザイン学部准教授 菅原 美樹 看護学部准教授 金子 晋也 デザイン学部助教 檜山 明子 看護学部助教 ◎大古 聡 事務局長
		FD委員会	◎上遠野 敏 地域連携研究センター長 羽深 久夫 デザイン学部教授 川村 三希子 看護学部教授 張 浦華 デザイン学部准教授 山田 信博 デザイン学部准教授 渡邊 由加利 看護学部准教授 原井 美佳 看護学部講師 坂東 奈穂美 看護学部助教 丞野 直樹 事務局学生課長 布廣 成規 事務局桑園担当課長
		倫理委員会	◎山本 勝則 附属図書館長 宮崎 みち子 助産学専攻科長 原 俊彦 デザイン学部教授 武田 亘明 デザイン学部准教授 三谷 篤史 デザイン学部准教授 藤井 瑞恵 看護学部講師 田中 広美 看護学部講師 上田 理子 事務局地域連携課長
		利益相反委員会	◎蓮見 孝 理事長 樋之津 淳子 理事 大古 聡 事務局長



区分		委員会等	委員・構成員	
			教職員名	所属・職位等
学内委員会	常置委員会	知的財産委員会	◎上 遠野 敏 原 俊彦 小田 和美 山田 良 古都 昌子 飯塚 和恵 上田 理子	地域連携研究センター長 デザイン学部教授 看護学部教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 事務局次長 事務局地域連携課長
連絡調整会議	学部間	教務・学生連絡会議	樋之津 淳子 ◎細谷 多聞 中原 宏 原 俊彦 吉田 和夫 河原田 まり子 川村 三希子 烝野 直樹 布廣 成規	看護学部長 デザイン学部長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 看護学部教授 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
	研究科間	研究科教務・学生連絡会議	◎城間 祥之 松浦 和代 石井 雅博 猪股 千代子 烝野 直樹 布廣 成規	デザイン研究科長 看護学研究科長 デザイン学部教授 看護学部教授 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
衛生委員会	芸術の森地区衛生委員会		齊藤 利明 金 秀敬 ◎大古 聡	デザイン学部教授 デザイン学部講師 調整担当部長
	桑園地区衛生委員会		清水 光子 近藤 圭子 田仲 里江 ◎飯塚 和恵	看護学部准教授 看護学部助教 看護学部助教 桑園事務室長
学部委員会	デザイン学部	教務委員会	◎中原 宏 柿山 浩一郎 松井 美穂 山田 良 石田 勝也 福田 大年 松永 康佑 矢久保 空遥	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部助教
	デザイン学部	学生支援委員会	◎吉田 和夫 高井 真希子 武田 亘明 三谷 篤史 山田 信博 片山 めぐみ 金子 晋也	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部助教
	デザイン学部	キャリア支援委員会	◎安齋 利典 張 浦華	デザイン学部教授 デザイン学部准教授



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
学部委員会	デザイン学部	山田 良 大淵 一博 金 秀敬 小宮 加容子 須之内 元洋	デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師
	教務委員会	◎河原田 まり子 定廣 和香子 上村 浩太 大野 夏代 神島 滋子 菊地 ひろみ 矢野 祐美子 山内 まゆみ 石引 かずみ 小田嶋 裕輝 柏倉 大作 檜山 明子 中田 亜由美 横川 亜希子	看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助手 看護学部助手
	看護学部	◎川村 三希子 古都 昌子 村松 真澄 守村 洋 工藤 京子 三上 智子 山本 真由美 近藤 圭子 坂東 奈穂美 御厩 美登里	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教
	キャリア支援委員会	◎スーディ神崎 和代 小田 和美 貝谷 敏子 櫻井 繭子 田中 広美 原井 美佳 森川 由紀 田仲 里江 大友 舞 星 幸江	看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助手 看護学部助手
研究科委員会	デザイン研究科	上遠野 敏 ◎石井 雅博 中原 宏 安齋 利典 町田 佳世子 三谷 篤史 片山 めぐみ	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師



区分		委員会等	委員・構成員	
			教職員名	所属・職位等
研究科委員会	デザイン研究科	教務・学生支援委員会	松永 康佑	デザイン学部講師
		研究科倫理審査会	◎矢部 和夫 原 俊彦 片山 めぐみ 大古 聡	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部講師 調整担当部長
研究科委員会	看護学研究科	教務・学生支援委員会	◎猪股 千代子 貝谷 敏子 村松 真澄 守村 洋 小坂 美智代	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師
		研究科倫理審査会	◎定廣 和香子 猪股 千代子 藤井 瑞恵 飯塚 和恵	看護学部教授 看護学部教授 看護学部講師 桑園事務室長

◎印：所管部局長等



16 FD・SD活動

FD活動 年間活動概要

(単位：名)

全学FD・SD		研修会名	場所	参加者数
7月20日	FD/SD	「効果的なグループワークのためのファシリテーション入門」での研修成果の全体共有	芸森:大会議室 桑園:大会議室	74
7月26日・ 8月3日	FD	新任教員を対象とした本学COC事業概要に係る研修	COCキャンパスまこまる2階B室	6
7月27日	FD	ループリック試行科目の実施状況・検証・今後の課題	芸森:大講義室 桑園:講義室1 ※遠隔で芸森へ配信	34
8月30日	FD	2016年度札幌市立大学研究交流会	芸術の森キャンパス	83
2月27日	FD/SD	札幌市立大学の学生支援はどうあるべきか～学生のメンタルヘルス支援体制を考える	桑園:講義室1 芸森:大講義室	60

(単位：名)

デザイン学部・研究科 FD・SD		研修会名（講師）	場所	参加者数
6月29日	FD	新コース、新カリキュラムにおける実習科目の在り方	COCキャンパスまこまる2階B室	10
10月19日	FD/SD	デザイン学部におけるカウンセリングの現状	芸森:大会議室	35
11月16日	FD/SD	南区の少子高齢化：現状と将来	芸森:大会議室	29
12月21日	FD/SD	SCUにおける商品化の課題と展望	芸森:大会議室	32
2月15日	FD/SD	南区におけるSCUの地域連携の問題点と展望	芸森:大会議室	36

(単位：名)

看護学部・研究科 FD・SD		研修会名（講師）	場所	参加者数
12月22日	FD	地域包括ケアシステムとキャリア支援	桑園:大会議室	38
2月15日	FD	南区の少子高齢化の現状と課題	桑園:大会議室	35
2月16日	FD	科目『卒業研究』を吟味する	桑園:講義室4	25
3月2日	FD	模擬患者と教員の活動を共有しよう～効果的な演技・演出、フィードバック・ファシリテートに向けて	桑園:講義室5	45



(単位：名)

SD	研修名	形態	受講者数
4月4日～4月5日	新採用職員研修	札幌市立大学 総務課	2
5月16日	札幌市政策企画部との勉強会～札幌市の現状と今後の取組～	外部	11
6月1日	契約事務研修（基礎編）	外部	3
6月8日	契約事務研修（物品編）	外部	3
6月17日	契約事務研修（役務編）	外部	3
6月22日 6月24日	旅費事務研修	外部	3
6月23日	仕事を楽しく進めるためのコミュニケーション力向上セミナー	外部	2
7月5日	クレーム対応基礎研修～クレームは期待のメッセージ～	外部	1
7月13日～15日	平成28年度 公立大学職員セミナー	外部	1
7月27日	職員研修 描くだけで頭の中が見えてくる！マインドアップ講座	外部	1
7月29日	施設管理研修	外部	2
8月1日～3日	地域にとって魅力ある公立大学づくり～地方創生に向けた雇用 創出・若者定着～	外部	2
9月7日～9日	公立大学法人会計セミナー	外部	1
10月25日	札幌市政策企画部との勉強会	外部	11
11月18日	財務会計責任者研修協議会	外部	1
12月7日～9日	国立大学法人等実務担当者向け財務会計研修	外部	1
3月22日	国立大学等セミナー～平成28年度決算における留意事項について～	外部	1